

ひきこもり解消 親が行動を

飯塚で家族セミナー NPO理事長の中光さん講演

筑豊若者サポステ（家族セミナー）
講演会 毎日新聞取材 掲載記事（筑豊版）

（平成26年8月24日朝刊）

筑豊若者サポートステーションの第1回家族セミナーが23日、飯塚市百原町のあいタウン内の同ステーションであった。ひきこもりの子がいる親ら10人を前に、長く支援にかかわる中光雅紀・NPO法人地球家族エコロジー協会理事長が講演。「本人のやる気を持っていたら、一生ひきこもりかねない。親が行動しないと」と熱弁を振るった（写真）。

【梅山製】

中光理事長は「『本人は動けない』ことを忘れないで」と説明。親は動いていないことだけを問題にしがちだが、親子のコミュニケーションシジョン欠落などで、働ける前提条件に達していないことが問題だと指摘した。

ひきこもり者は、対人関係構築、情動コントロール、想定外の問題への対処ができなくなっており、すぐに仕事することはできないと説明。「目標を持って」などと言いつつでなく、親がまず見本を示し、家事労働を積

極的にさせて「ありがとう」と伝えることなどが、親としてできる第一歩だと訴えた。7月開設の同ステーションには、ニートやひきこもりの84人が登録。これまでに47人の今後の進路が決まった。

